

学校関係者評価

評価実施日	平成29年 1 月 25日（水）			
委員	氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
	戀木 哲也	学校評議員	上野マリエ	学校評議員
	濱田 耕造	学校評議員	稲田 秀一	P T A顧問
	三好 康子	学校評議員	武田 康秀	大洲市役所
	中川 義博	学校評議員	竹本 修二	学校関係者
第三者評価委員	作田 良三（松山大学経営学部教授）			

評 価 ・ 提 言 等

1 全般

生徒・保護者・教職員いずれのアンケートにおいても、肯定的に評価される項目が多い。昨年度のアンケート結果と比べても、全体的に肯定的な評価が同程度である。

2 学習指導について

学校生活の充実、授業の充実ともに、肯定的に評価する生徒が大多数を占めている。特に入学満足度が高く、学校への愛着を高めていると考えられる。

また、学習指導は教職員の情報交換や創意工夫ある教材活用の実践に支えられている

特別活動においても、充実感を得ている生徒は例年通り多く、教職員もホームルーム活動や生徒活動の指導に関して肯定的な評価が増加しており、その充実ぶりがうかがえる。

3 生徒指導について

生徒・保護者ともにおおむね肯定的に評価しているが、生徒の悩み相談に対する評価が低いのが気になる。また、教職員からも共通理解のもと、信頼関係づくりに努めているかについて「あまり当てはまらない」と回答する割合が昨年度より増加しており、自由記述からもその様子が見える。

生徒指導体制・教育相談体制については、いま一度、教職員間の共通理解や連携を確認していただきたい。

4 進路指導について

昨年度と同様、生徒・保護者ともに高く評価している。将来の進路や生き方を考えさせる指導で「よく当てはまる」の回答が昨年度より増加していることもあってか、進路指導に関する生徒の評価で、1年生と2年生の評価が昨年度よりも高くなっている。今後も高校3年間を通じた進路指導の展開が期待される。

5 情報公開について

ホームページについては、学校行事の様子やお知らせなど盛りだくさんで、楽しく拝見している。評価もよく、アクセスカウンタの多さに驚いている。先生方のサイト更新の運営は大変だと思うが、今まで同様、頑張ってもらいたい。

6 特色ある学校作りについて

例年に比べ、部活動に関する生徒の意見は少ないものの、文武両道に関する懸念は、1年生の保護者を中心にいくつかみられる。教育目標に対する評価においても、肯定的な回答は1年生保護者で75.6%であり、昨年度の80.7%を下回っている。

7 保護者との連携について

過去の保護者アンケートを振り返ると、「文武両道」に対する期待が高い一方、1年生保護者からは勉学との両立や通学距離等の面から、部活動への戸惑いがたびたび示されてきた。

重点努力目標について、とりわけ1年生の保護者への理解を図ることが期待される。